

質問者：議席番号1 鵜澤議員**質問内容 ○交通安全施設及び広域医療について**

交通安全施設及び広域医療について質問します。

私は、毎日綱田方面に帰るのですが、国道を右折して東日総業さんの資材置き場の脇道を通って県道に出て帰ります。しかし、その道路は、季節により暗くなってしまいます。暗くて前が見えなくてとても危険ですので、ここに防犯灯をつけて欲しいと思います。そうすれば、車や歩行者の交通事故もなくせると思います。

次に、道路整備をして欲しいです。歩くとき歩道がないので車が来て大変危険です。また、押しボタン信号や横断歩道もつけてほしいです。なぜかという、歩行者がわたるときにとっても危険なので、押しボタン信号をつけてほしいです。場所は綱田集落センター前です。その道路は横断歩道をつけても車が止まってくれないので、押しボタン信号を付けてくれたほうがうれしいです。

それともう1点、次の質問として東浪見小学校のグラウンドは、ドクターヘリの基地になっています。今年度も1学期の授業中にドクターヘリの使用がありました。そこで私が疑問に思ったことは、一宮・長生郡の近くには緊急のための病院はないのかと思ったので、医療体制の改善をして欲しいのです。以上のことを質問します。

答弁者：町長

それでは防犯灯をつけてほしいとの質問について私からお答えします。

ご質問のありました場所については、国道から東日総業さんの資材置き場の脇を通り県道に抜けて綱田方面に帰る通学路であります。道路も狭く、坂道であるため見通しも悪く、自転車や歩行者の方には、暗くとても不安であると思います。防犯灯は道路が明るくなることにより、車を運転する人から歩行者や自転車等が良く見え交通事故が少なくなるだけでなく、ひったくりなどの犯罪防止にもつながり、地域の安全を守ることになりますので、防犯灯は非常に大切な役割をしています。今回のご質問の道路沿いには電線がなく、国道の入り口に一か所と県道側出口に二か所防犯灯がついていますが、中間に電柱がない状況ですので、この間は付けられなかったのかと思います。

この場所につけられるかどうかは、地域にお住まいの区長さんや工事の人と相談していきたいと思います。

今後も暗い所や危ない所があれば、地域の区長さんと相談して設置して行きますので、お父さんやお母さんから区長さんに連絡してください。よろしくお願いします。

道路整備についての質問にお答えします。質問の道路は、町道3180号線といって、東浪見小学校の児童のみなさんの通学路に指定されています。

現在の道路状況は、道路幅が3m程度の狭い道路です。自動車が1台通ると歩行者は道路脇によらなければならぬくらい歩行者にとって、危険な道路であると思います。

この道路の上の県道は、毎年少しずつですが、茂原市にある千葉県長生地域整備センターで整備を行っています。現在は国道（元カネカスタンド）から綱田集落センター手前までの間の県道について、土地を買収して歩道のある道路に整備しているところです。この県道の整備が完成すると、安全に通行できる道路になりますが、完成までには相当時間がかかると思います。しかしながら、小学生の皆さんは、今の道路状

況では危険だと感じているわけですから、県道の整備が完成するまでの間できる取り組み方法として、この町道をスクールゾーンや通学時間帯に車を進入させない制限をかけるなどの改善方法が考えられます。これらのことと、押しボタン式信号機と横断歩道を付けてほしいなどの規制に関することは、町ではなく警察の交通安全を担当するところが危険かどうかを調べて必要かどうかを決めますので、鶴沢議員のお願いの趣旨を警察に説明して検討していただくようお願いしてみます。

長生管内の緊急病院の設置についての質問にお答えします。

まず、病気やけがの程度により、軽傷の人は、町内の医院で日常的な治療をします。これを1次救急医療といいます。また、入院治療が必要な場合は、長生郡内の入院可能な医院で治療します。これを2次救急医療といいます。長生地域の2次救急医療の中心は、長生病院です。

平成23年度から24年度にかけて長生病院の救急処置室の整備を行う予定です。さらに、ドクターヘリで対応できる救急病院は、3次救急医療といい、最先端医療で高度な治療をしてくれる医療機関です。残念ながら最新の施設を維持するには、大変なお金がかかるため、私たちの長生地域にはまだありません。現在、長生地域では、亀田病院や千葉救急医療センター・君津中央病院などの医療機関にお世話になっています。このため、山武・長生・いすみ地域を医療圏とした3次救急医療のできる救急医療センターを現在東金市に建設する計画があり、平成26年度に開設の予定となっております。今後も医療体制の改善をしていきますのでよろしくお願ひします。

質問者：議席番号2 小松議員

質問内容 ○税について

私はまだ小学生なので、税を納めていないし、税金のことがよくわかりませんが、最近タバコ料金が値上がり、税が増えたとか、消費税を国は近く上げるかもしれないという話を聞きます。

私の周りの大人たちも、税金が高いから少し安くないかという話をよくしています。

質問の一番目として、親や周りの人々も言っていました、税にはたくさん種類があり納めるだけでも大変だと聞いています。なぜ税金を納めなくてはいけないのか質問します。

質問の二番目として、一宮町では一年間にいくらぐらいの税金が入ってくるのか、その税金の種類はどういうものか質問します。

質問の三番目として、その入ってきた税金を私たちの生活のために一宮町ではどんなことにいくら使っているのかお聞きします。

答弁者：税務課長

みなさんのお父さんやお母さんは昨年10月のタバコ税の増税や、いま現在、話題となっている消費税の増税等、税金の支払いに関してはみなさん大変な苦勞をされていることでしょう。しかし、税金はみなさんの暮らしを守る大切なお金ですので、十分に理解して正しく税金を納めて下さるようお願いいたします。

一番目の質問ですが、税にはいろいろな種類があります。所得税や消費税等の国に納める国税と自動車税やゴルフ場利用税等の都道府県に納める税金、町

民税や固定資産税等の市町村に納める税金等、約50種類の税金があります。もし税金がなかったら、教室の窓が割れたり雨漏りがあっても修理されない。火事が起きて消防車が来ない、急病人が出て救急車が来ない、道路に穴があいても補修されない等といった事態が起こります。税金はみなさんが豊かで安心して暮らしていくための、いわば「会費」と言えます。納税は国民の義務であります。

二番目の質問ですが、一宮町ではみなさんから直接一宮町に納めてもらっている税金は、みなさんの収入に合わせて納めてもらう町民税、土地や建物を持っている人が納める固定資産税、軽自動車やバイクを持っている人が納める軽自動車税、タバコを買う時に納めるタバコ税、地面に井戸を掘ってガスや様々な地下資源を採取する会社が納める鉱産税、ホテルや旅館の中にある温泉に入ったお客さんからいただく入湯税の6種類があります。そうした税金は一年間に約13億4千万円という金額になります。

三番目の質問ですが、税金をどのように、いくら使っているかという事ですが、お金の使い道で代表的なものを挙げると、みなさんが通う学校や体育館、教室で使う机や椅子、図書の購入等教育関係費で約2億8千万円、また通学道路や排水機場の整備等に約2億3千万円、お年寄りや障害者の方の援助等に約7億円、火災や災害からみなさんを守るための防災施設（消防車や救急車等）の整備・充実等に約2億円、みなさんの安全を確保するためのカーブミラーや防犯灯の設置、防災行政無線等に約1千5百万円といったように、その他にもいろいろな分野に使われています。

質問者：議席番号3 塚本議員

質問内容 ○一宮駅のエレベーター設置と障害者支援について

一宮駅のエレベーター設置と障害者支援について質問します。

一宮町とは限りませんが、現在町にも高齢者が増加しているということを聞きます。その関係の質問をします。

私は、時々、一宮駅を利用します。一宮駅にはエレベーター、エスカレーターがありません。そのためにお年寄りの方々が重い荷物を持って階段を上り下りしなくてはなりません。また、ベビーカーの赤ちゃんや幼児なども階段で行かなくてはなりません。そのため駅を利用するたくさんの方が、エレベーターがあったら良いかと望んでいます。駅にエレベーターを設置する予定はあるのでしょうか質問します。

また、一宮駅の踏切は歩道が狭くて大変危ないです。私は何度も危ない人を見かけました。そのため東側にも改札口の設置をした方がよいと思います。

次に私は先日、栃木県足利市にあるココファームワイナリーの収穫祭へ行ってきました。そのワインはこころみ学園という障害者の方たちが作っています。1950年代、少年達によって開拓された山でぶどう畑を作り、収穫し小さなじょうぞう工場でワインを作っているそうです。その収穫祭に万人近い人たちが日本全国から集まってきて、今年のおいしいワインを飲んだり、買いに来たりしていました。障害者の人たちは一生けんめいワインを作って、販売しています。それをほこりに思っています。

一宮町では、障害をもっている人たちにどのような支援をしているのか教えてください。以上質問します。よろしくお願ひします

答弁者：町長

高齢者や障害者支援についての質問ですが、今、日本の高齢化率、総人口に対する65歳以上の割合は21%を超えています。一宮町では26%を超え4人に1人が65歳以上となっています。この先もっと増えると予測される中、町では色々な仕事をしています。

その一つでもあります一宮駅にエレベーター設置と、駅東側に改札口設置の実現についての質問ですが、

まず、駅はどこが管理運営しているか説明しておきたいと思います。以前は国鉄と言って国によって運営されていましたが、今はJR東日本という会社が運営し、電車の運転時間とか会社の経営方法とか、この会社が全てを決めています。駅の名前も上総一ノ宮とって町で決めた名前ではありません。

ですからエレベーター設置することも、駅東側に改札口を設置することも、町では勝手にできません。JRの方針で決まるのです。先ずは、このことを知っておいてもらいたいと思います。

そのなかで、質問のエレベーター設置ですが、このことは既にJRと協議（話し合い）を行いまして、駅のバリアフリー化事業（「障壁のない」の意、段差や仕切りをなくして高齢者や障害者が利用しやすくする）で、今年の3月頃（本格的には5月頃）から工事に入る予定をしています。

総事業費は、2億2千2百4拾万円を予定し、国とJR、町でそれぞれ1/3ずつ負担します。11人乗りエレベーターを2基、多機能型トイレ（車椅子・ベビーシート・オストメイト）や駅入口階段に車椅子の方が利用できるスロープを設置する予定となっています。（資料配布してある）早ければ年内、遅くても来年3月には完成されると思います。

次に東口改札口開設の質問にお答えします。

東側から電車に乗れる様になる事は、一宮町の長年希望していることです。何とかできないものかと、JRとの話し合いは、もう20年以上続けています。そんなに長く話合っているのに、なぜ実現しないかということになります。前段で話したように、駅はJRのものなので町が勝手に計画できないのです。

JRの方針として、「一つの駅に改札口は一箇所」ということがあって、西口と東口両方の改札口は認めてくれないのです。

東側から乗る方法として「橋上駅」（イメージ図配布してある、西側と東側に橋を架けその上に改札口を一箇所造る方法）であればOKですということです。ところが、この橋上駅を造るには膨大な経費（10億円以上）が掛り、この経費の殆どを町が負担しなければなりません。

このことを町では色々な面からも研究してきましたが、この額は一宮町の財政状況からすると、とても負担できる額ではないと判断し、平成14年にこの計画を延期することが町の議会でも話し合われ現在まで来ています。

しかし、町は東側から電車に乗ることをまだ諦めていません。これからもJRと話し合いを続け、町の負担できる範囲の計画を考えて行くよう頑張っています。

続きまして、障害をもっている方たちへの支援についての質問にお答えします。

障害がある人が色々な法律や条例等で定められた支援を受けるために必要な手帳を交付しています。（3種の手帳を提示）手帳には、身体障害、知的障害や精神障害の3種類の手帳があります。交付された手帳で色々なサービスが受け

られます。例えば、身体障害手帳を持っている方で、身体の失われた部分や思うように体を動かすことのできない障害がある方には、日常生活や職業生活に必要な義手、義足、補聴器、車いす、杖などの補装具費の助成を行っています。また、聴覚、言語機能などの障害のために、意思疎通を図ることに支障がある聴覚障害者等の方には、手話通訳者を派遣するサービスを行っています。その他にも、65歳未満の方が疾病や事故によって障害になった場合に、障害年金の支給される制度もありますし、身体障害者と知的障害者の方で障害の程度が重度と判定された方には、治療により障害が少しでも軽減するように医療費の助成も行っています。更に、JRなどの運賃の割引や航空旅客運賃、有料道路の通行料金、タクシー運賃の割引などの様々なサービスがあります。これからも町では、障害をもっている方の、社会生活に支障のないように福祉の向上に取り組んでいきますのでよろしくお願ひします。

質問者：議席番号4 坂入議員

質問内容 ○学校施設の改善について

学校施設の改善について質問します。

私は、小学校のサッカー部に入っています。サッカーなどをしていると、校庭に石がたくさんあります。この石のせいで、けがをしたりして、危なくて思いっきりスポーツができません。全校で毎日のように、石をがんばって拾っています。でも、なかなか石が減らずに困っています。何とかしてもらえないでしょうか。

学校にはたくさんの遊具がありますが、どの遊具も古くなり、なかなか遊具で遊ぶ人がいなくなりました。遊具の修理や新しい遊具を作ってもらえないでしょうか。

学校のプールも、とても古くなっています。今年も夏休み中の開放もなくなりました。新しいプールを作ることは無理かもしれませんが、プールの修理等やってもらえないでしょうか。以上質問します。

答弁者：町長

学校施設は、安心・安全・快適な学習環境づくりを目指し、施設の充実と適正な管理・活用を図るよう努めております。

東浪見小学校では児童の学習環境整備事業として、校舎及び体育館の耐震補強・大規模改修工事を実施したところです。

校庭の整備ですが、大きな石は平成21年度に既に取り除いております。小さな石は全校児童による石拾いにより大変少なくなってきました。しかし、まだ十分とは言えません。町としては、今後とも良質な砂を校庭に補充するなどの整備を行い、皆さんが安心してスポーツができるよう改良に努めてまいります。

次に遊具ですが、皆さんの体力向上につながる大切な施設です。

学校では遊具を安全に使えるよう定期的に点検を行っておりますが、老朽により腐食したもの、ペンキがはがれたものなどは修理、補修を行ってまいります。東浪見小学校には沢山の遊具が有ります。遊び方を工夫しながら、色々な遊具で楽しく安心して遊び、体力をつけ、よい仲間づくりをしてください。

プールについては、昨年、水道管に漏水が発見された為、プール開放ができ

なくなり、皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。現在、漏水修理工事は終了しております。ほかに、ろ過装置の塗装、日よけの設置も完了しております。今年の夏はプール開放が実施できる予定ですので安心してください。

質問者：議席番号5 大室議員

質問内容 ○魅力あるまちづくりについて

魅力ある町づくりについて質問します。

私は、観光客がたくさん集まる一宮になるように、商店街の活性化やエコトイレ増設をして欲しいと思っています。

一宮の特産物はジュシーでおいしい梨やメロン、トマトなどの果実です。

ところが最近では、せんだうや長生村のベイシアなどができて、商店街よりも一気にまとめ買いができる、などの理由や便利さで大型店に行く人が圧倒的に増えています。なぜかというところ、今は昔と違い、車での移動が主になっています。車で移動する人にとっては、大きくて広い駐車場や、いつでも車がとめられるという安心感が店を選ぶ理由のひとつでもあるのです。

いっぽう、商店街のいいところは、小さいけれど、一つ一つの品物にこだわりをもって販売しているのだから、質もいいし安心だし、何よりも地元で取れたものや自家製のものを多く使っていることです。

そういった商店街のよさを生かすためには、まず第一に、使い易さや便利さをアピールすればいいと思います。場所がないのはわかっていますが、駐車場がまずない。

わざわざ車を止める気にもならないと思います。

あとは、雰囲気。まあこれはお店の問題だと思えますが、ガラス窓にべたべたと白い紙やチラシなんか貼ると、むしろ逆効果になるほどたくさんはってあります。細かいことですが、これもひとつの理由として、挙げられると思います。

特産物を売る場所がこんなようすでは、いくらアピールしたってお店を利用しづらかったらなんの意味もありません。

もうひとつは、エコトイレの増設についてです。

私の家では、夏になると、海に行きます。でも、一宮の海ではなく、別の市町村の海に行きます。私の友達の家でも、ほとんどがそうしているようです。

理由は、設備です。トイレもほとんどないし、シャワーもありません。トイレに行きたくなったら、わざわざほかの所へ探しに行かなければならないし、シャワーがなければ砂だらけで車に乗るしかありません。

私たちが求めているのは、こんなツッコミ所満載の海でなく、釣ヶ崎にあるようなエコトイレのある海です。

『緑と海と太陽の町』、一宮町のキャッチコピーです。一宮町のマスコットキャラクター、いっちゃんの髪の毛は海、その上には山があります。その海も山も今にごりつつあるのではないのでしょうか。観光客の人達が、一宮に来てがっかりするのは、と心配です。こういった一宮の観光開発については、どういう方針なのでしょう。

答弁者：産業観光課長

魅力ある町づくりについて回答します。

まず、商店街の活性化ですが、大室さんのおっしゃるとおり、大型スーパー

の進出による地元商店街への影響は、一宮町にも見て取れます。

大型スーパーは、車で乗り付けて、一気にまとめ買いができるなど便利ですが、商店街のいいところは、小さいながら品物にこだわりをもち、人と人とのふれあいを大切にして、日々のコミュニケーションの場所としてとても貴重だと思います。

しかし、商店街で各店舗に駐車場を有しているのはごく一部であり、利用客は道路の脇に停車するか、商工会の駐車場を利用するようになり、不便をしいられているのが現状です。このような中で、商店街では一宮スタンプ会という協同組合を設立し、これまで様々なサービスを展開してきました。しかし、経営不振や後継者がいないなど様々な理由により店舗数も減少しております。これからは、大型店との共存も視野に入れた、商工業のみならず観光や農業との連携による商店街の活性化を町と商工会又、地域住民を交え検討していきたいと考えております。

次に、エコトイレの関係ですが、東浪見の釣ヶ先に一昨年 completed しましたエコトイレは、水で流した汚物が土の中で処理され、きれいになった水を再利用する循環型トイレです。水もほとんど新しい水は使わないまさにエコトイレです。近くの海にトイレの不要な汚水などが流れず、かつ便器を洗浄水によって十分にきれいに保つことができる、国内初の新たなシステムを採用し、観光客からの評判も上々です。

一宮海岸では、年間を通じて来町するサーファー、釣り客、夏期の海水浴客などに対応するため、仮設トイレを常設しています。このため、観光客に不便をさせるほか、不快な思いをさせているのが現状です。

観光地全体における施設の中でも、公衆トイレは利用頻度が高く、その状態から受ける印象は観光地全体のイメージを左右すると言っても過言ではありません。従来の臭い、汚い、暗いトイレイメージを払しょくし、観光客が清潔で安心して使用できるトイレが理想ですので、一宮町観光のイメージアップのためにも今後トイレの設置について考えていきます。

質問者：議席番号6 鈴木議員

質問内容 ○防災放送無線について

防災無線放送について質問します。

冬季に五時の時報を、四時に変えて欲しいです。

私の母は、私が公園や、友達の家に行くとき、「4時ごろに帰ってきなさい。」と、言われます。友達の家に行くときは、時計があるからいいのですが、公園に行くときは公園に時計がないことが多いので、冬季に5時の時報だと、もう辺りは暗く、家に帰る道の途中で、事故や事件が起きやすくなると思います。それに最近の日本は殺人事件、誘拐事件などがふえてきています。

この一宮町だって安全だとはいえませんが、他の市町村からそういう人が来て、誰でもいいから、ゆうかい、殺人などをしたいという人も多いみたいです。そうやって帰る途中に事故や事件にあったら親や学校の人までまきこんじゃうし、遊びに行った人の親や遊びに来てもらった人の親、どちらが悪いとかがあっていうのはどうかと思うし、だからといってどちらかの親が責任を取るというのも、私はちがうと思います。

なので、そんな風に大きなことにならないようにするためには、そういうことも想定して、事前に防ぐことが大切だと思います。
深刻な話になりましたが、そのような大きな事件を防ぐために、冬季には、五時の時報を4時に変えたほうがよいと思うのですが、どうでしょうか。

答弁者：総務課長

防災行政無線を使って町の人に時間をお知らせする放送については、防災行政無線を正しく使うための細かな規則が決められていて、チャイムは、朝の7時、お昼の12時、夕方の5時、そして夜の9時と1日4回の放送時間が決まっています。

この他に、子供たちみなさんの安全のため、夏休み中は夕方5時に「午後5時になりました。子供たちは家に帰りましょう。」、冬休み中は夕方4時に「午後4時になりました。子供たちは家に帰りましょう。」という放送をしています。

ご質問のように最近では、テレビや新聞のニュースなどで子供たちを巻き込んだ悪質な事件を聞く度に一宮町の皆さんは大丈夫かな？と心配になります。外で元気よく遊んでいると時間も忘れてしまうこともあると思いますが、早めに帰るようにしましょう。

この、夕方5時のチャイムは30年近くも決まった時間に放送していたので簡単に5時から4時に放送を変えてしまうと、皆さんのおじいちゃん、おばあちゃんなど町中の方が「今のチャイムは5時かな？4時かな？」と混乱してしまうかもしれませんのですぐに変えられないかもしれませんが、一宮町に住んでいる皆さんの安全のためにも、これからいろいろ調べて、より良い方向へと考えて参りたいと思います。

質問者：議席番号7 田中議員

質問内容 ○ペットボトルのふたの有効利用について

ペットボトルのふたの回収で提案します。

私は一宮町で、ワクチンに変えられるペットボトルのふたを回収して欲しいと思います。

今、一宮小学校では、800個でワクチン一本に変えられるペットボトルのふたを回収しています。それを町全体で行うようにしたらどうでしょうか。

一宮小学校は、福祉委員会を中心に一年間で、約一万五千個のペットボトルのふたを十八人分のワクチンに変えることができました。一宮小学校だけでこのような数だけ集まったので、これを町全体で行えば、倍の数のペットボトルのふたが集まり、もっと多くの人々の命が救えると思います。

ふだんなら捨ててしまうペットボトルのふたですが、一人ひとりの小さな心がけで大切な人の命が救われるなら、町を挙げてこの活動に参加したいと考えました。

ですので、駅や役場など人が集まるところにペットボトルのふたの回収箱を設置し、ひとりでも多くの人々の命が救えるように、町のかたがたに呼びかけてはどうでしょうか。

答弁者：町長

一宮町で、ワクチンに変えられるペットボトルのふたを回収して欲しいとの

提案ですが。小さなキャップでも分別して回収すれば、建設資材やボールペンなどに100%再生利用される資源となり、800個で一人の子供の命を救うことができる素晴らしい取り組みであると思います。

近隣では、長柄町教育委員会が3年前から事業主体となり、環境教育の一環として実施しています。集められたふたは、エコキャップ推進協会と業務契約をしている市原市にある業者へふたの売却利益全てがワクチンに変えられるように教育委員会で直接搬入しています。このような取り組みは、県内の他の市町村でも広がりつつあります。

現在、長生郡内のペットボトルのふたは、茂原市にある処理場で燃えるごみとして処理されていますが、世界の発展途上国の子供たちの命を守ることができる取り組みとして、まずは町の施設に回収箱を設置するなどの方法を考えたり、周りの市町村とも連携して、ペットボトルのふたの回収の輪を広げていければと思います。

質問者：議席番号8 大塚議員

質問内容 ○公園整備について

公園整備について質問します。

城山などの公園を子どもが楽しく遊べるようにして下さい。

私が友達と城山公園に行ったら雑草が足に当たりくすぐったいし、遊具がなにもないので遊ぶことができません。

ブランコやすべり台など、一個か二個遊具が置いてあると遊びに来た人が少しでも楽しくなれると思います。

ほかにも、私の家の近くの公園は、雑草はあまりに生えていませんが、遊具はあまり楽しく遊べません。

すべり台はすべるところが二つあり、一つは、下が砂場でもうひとつは、出入の前です。出入り口の方はいいですけど、下が砂場のほうは、滑り台をすべると靴の中に砂が入ってしまうことや、運が悪いと湿っていたら滑らないなどということがあります。

ブランコは高学年だとほとんど足が着いてしまい、こぐときも下についてしまいすぐとまって、その繰り返しなので、四つのうち二つはそのままの高さで、もう二つはもうちょっと上げてほしいです。

砂場も、違うところへ帰って、スコップやバケツなど砂場で遊べるものが何個かあると何も持っていなくても楽しく遊べるのでいいと思います。

どうか、これらの願いを聞いてもらえますでしょうか。

答弁者：町長

一宮町には、都市公園は3カ所、児童公園・児童遊園は6カ所あります。

城山公園は、都市公園として昭和58年にできました。これまで、町では維持管理のために草刈を行ってききましたが、今では、桜の木などが植えられており、散歩したり、春には花見を楽しんだりするなど、地域の皆さんに広く利用されています。

城山公園は、計画したときには、花畑や噴水、遊具なども予定されていましたが、これまでは費用のかからない自然のままの状態がよいということで現在の形になりました。今後も、城山公園は、今のままの池があり、木や花を植えて散歩を楽しんだり、景色を眺めて安らいだりする公園として整備をしていくつもりですが、質問の城山公

園などを子供が楽しく遊べるようにしてくださいとのことですので、今後は、将来に向けて遊具の設置も検討した中で、大人も子供も楽しめる公園にしていきたいと考えておりますので、今ところは、ブランコ、滑り台などがある公園を利用していただくようお願いいたします。

また、児童公園など6カ所の公園は、地元の区長さんに管理をお願いしています。毎年、区長さんの要望で遊具の修理やペンキの塗り替えなどしています。お話のありました大塚さんが遊んでいる白山公園のブランコの高さや砂場の関係の要望は地元の区長さんと現地を確認し出来るものについては直して楽しく遊べるようにしていきますのでよろしく申し上げます。

質問者：議席番号9 山口議員

質問内容 ○一宮駅の利用について

一宮駅の利用について二つ要望します。

一つ目は、一宮駅の階段にエスカレーターを設置してほしいと思っています。一宮駅の階段は段数が多く、急なため、お年寄りや荷物の多い人はのぼりおりが大変ですし、急いでいる人はふみ外してケガをする危険があります。

そこで、エスカレーターを設置することにより、お年よりや荷物の多い人も楽に上り下りできますし、いそいでいる人も、ふみはずしてけがをする危険も減ると思います。

障害者もエスカレーターがあれば、安全に階段を上り下りできるのではないのでしょうか。

二つ目は、今は一か所しかない改札口を、東側にも設置してほしいという要望です。

海岸など、駅から離れたところに住んでいる人々は、駅を利用するとき、踏切を歩いて駅に行きます。

しかし、踏み切りは朝などとても待つ時間が長く、踏み切りを歩いて駅に行く人はとても不便です。

そこで東側にも改札口を設置すれば駅から離れたところに住んでいる人も踏み切りを通過せずに一宮駅を利用できるので、とても便利になると思います。

どちらも費用はかかるとは思いますが、この二つの要望が実現できれば今の一宮駅よりももっとよい施設になると思います。

この二つの要望を実現することを考えていただけないのでしょうか。

答弁者：まちづくり推進課長

一ノ宮駅の関係については、先ほど塚本議員の質問で殆どお答えしたところですが、山口議員の質問はエレベーターでなくエスカレーターを設置して欲しいとの事ですので改めてお答えします。

大きな駅にはエレベーターとエスカレーター両方が設置されています。近くでは茂原駅が両方設置されています。

一ノ宮駅はこの辺では比較的大きいと駅と思いますが、乗降客、つまり電車に乗り降りするお客さん合わせて6,200人ほどで、維持管理などの経費面を考えますと両方を造るほどの規模にはありません。

エスカレーターがあれば、高齢者や身障者の方だけでなく、一般の利用客にとっても大変便利になりますが、エスカレーターは乗り降りに危険性があつた

り、車椅子の人は利用できない事からエレベーターを設置するものです。尚、エレベーターは、高齢者や障害者が一般の利用者と同じように電車を利用するための施設ですので、一般の利用者はできるだけ階段を利用してもらいたいと思います。

次に東口の改札口開設の質問ですが、先ほどの塚本議員に対する回答に少し付け加えさせていただきます。

なぜ、JRは東口改札口の設置について、なかなかOKしてくれないかと言うと、改札口を2箇所にした駅は一宮の他にもいっぱいあるわけで、一ノ宮駅を認めると他の駅にも影響してしまい、安全面や経費的なことなど考えることからJRは慎重になっています。

そのような中、最近では誉田駅が橋上駅になっていますが、一ノ宮駅については快速の始発駅、特急で東京駅まで1時間という便利な駅であり利用者はこれからも増えると思います。これからも、何とか東口改札口が出来るよう、JRと協議を続けて行きます。

質問者：議席番号10 渡邊議員

質問内容 ○保育所について

保育所について質問します。

保育所の保育時間を7時までにして欲しいです。

一宮町にある保育所は、どれも6時か6時半までです。私の母は大綱で午後7時まで仕事をしています。家は両親ともに仕事をしていて、午後6時半までの保育では迎えにいける人がいなかったのので、私は7時まで子どもを預けられる大綱の保育園に行っていました。

今の時代は、働いている人も多く、私の家のような家庭は少なくないと思います。保育園は、仕事をしている親の方々が仕事をしている時間に子どもの面倒をみられないから、保育園に子どもを預けるのです。

しかし、仕事をしている時間に保育園に子どもを預けることができないのであれば、保育園の役割を果たしたとは言えないと私は考えます。

働いている親の方々のためにも、保育時間を7時まで延ばすことはできないのでしょうか。

答弁者：保育所長

通常の保育時間は午前8時から午後4時までですが、現在、一宮保育所では午前7時から午後6時半まで開所しており、延長保育を実施しています。

一宮町でも、核家族化の進行、就労形態の多様化等といった社会的背景により、保育時間の延長を求める要望もあり平成23年度から午後7時まで延長する予定です。

質問者：議席番号11 神山議員

質問内容 ○年金について

年金について質問します。

年金を納めない六十歳以下の大人への呼びかけを強化してくれませんか。

母や父、祖母などから聞きましたが、今、年金を納めている大人が年金をもら

う年になったとき、納めた年金がもらえなくなる可能性がある」と不安を持っていました。

その理由のひとつとして挙げられるのは、就職していて収入があるにもかかわらず、年金を収めていない六十歳以下の大人がいるからだそうです。

今、年金をもらっている高齢者の人たちが納めてある年金を使いきってしまうと町にも損害が及ぶ可能性があります。

そこで、今後の呼びかけを強化していき、穴埋めをする必要があると思います。できるかぎり、よろしくをお願いします。

答弁者：住民課長

公的年金制度は、現役世代の保険料負担で高齢者世代の生活を支えるという「世代間扶養」の考え方で運営され、社会全体で支えあう仕組みとして作られた制度です。年金の大きな役目は、老後の生活を支えることですが、それだけではありません。病気やケガにより障害を負った方や、亡くなった方の家族の生活を支えることも大切な役目です。

年金には、会社員が加入する「厚生年金」、警察官や学校の先生・役所の職員などの公務員が加入する「共済年金」と、これらに属さない自営業や農林業・学生・フリーターなどが加入する「国民年金」の3種類があります。会社員や公務員などは給料から差し引かれて保険料を納めています。また会社員や公務員に扶養されている妻や夫は保険料を納める必要はありません。

国民年金は、20歳以上60歳未満の国内にお住まいの全ての方が加入することが、法律で義務付けられています。

現在、国民年金の保険料収納率は下降傾向にあり、平成21年度実績では60%と非常に厳しい状況です。

神山議員が心配されているとおり、保険料を納めない方の多くは、「年金制度に不安がある」「将来年金をもらえるだろうか」など、若い世代を中心に年金制度に対する不信感を持たれているからだと思います。

しかし、老後の生活の為にも最低25年以上保険料を納めないと年金はもらえません。尚、経済的に収入がなく保険料を納められない方には、保険料の免除や保険料を猶予する制度もあります。

町では、国から年金事務を委託されている日本年金機構と連携を図り、担い手である若い世代の不安や不信感を払拭し、今一度、年金を納める大切さを理解していただくために、広報等でお知らせし、国民年金制度の理解と保険料納付の呼びかけに努めてまいります。

質問者：議席番号12 森 議員

質問内容 ○町民税の減税について

町民税の減税について質問します。

町民税を少し減らしていただけないでしょうか。

町民税は、その得た税金で、学校を建てたり、橋の修理などに使うと聞いています。ですが、その反対で、町民税が高額だという声もたびたび聞こえてきます。また、建設や修理が必要な場所は見当たりません。生活への負担もはんばではないと思います。それに、問題点がいくつかあります。

一つは、引越しをしてきてすぐに町民税を支払う、ということがおきたら、あ

たふたして大変だということ。

もう一つは、税金を使い終わったあと、あまった税金はどうするのかということ。実際には、住民の人々に返ってこないそうです。

そこで、私は、自分なりに対策を考えてみました。

一つ目の対策は、引越してきた人々の名前が、リストか何かに記録されると思います。税金を集めるときに、その人々を調べて、少し後に支払わせることにしたら良いと思います。

二つ目の対策は、あまった税金を分けて人々に返せばよいと思います。

もし、あまった税金を返せない場合は、翌年からあまった税金を引いて、出た税金を集めればよいと思います。この対策のどちらかでも使ってもらえば幸いです。

そちらも一生懸命考えてやっているということは承知の上ですが、こればかりは。

町民税を少し減らしていただけないでしょうか。

答弁者：町長

税金の支払いは、ほとんどの人にとって、あまりうれしい事では無いと思います。税金は安い方が良い、できれば税金をタダにして欲しいと思っている人が多いと思います。

しかし、税金は私たちが健康で便利な安心できる生活を送るため、一宮町をより良く住みやすい町にするためには、どうしても必要なものなのです。

税金の使い道は、学校を建てたり、橋や道路の修理をする為だけに使われているわけではなく。身近な所では、皆さんが使っている教科書や理科や体育の道具を買う費用、そのほか学校で使う様々な用具を揃える費用や学校の電気代、水道代などにも使われています。小学生1人当たりに掛かっている税金は、年間約83万円といわれています。その他にも、公民館や保健センターなどの公共施設の電気代や水道代、壊れた時の修理代、警察や消防などの活動費、各家庭から出たゴミを処理する費用、お医者さんに掛かったときの医療費の一部などたくさんのお仕事に使われています。

一つ目の質問についてですが、町民税については、日本国内どこに住んでいても、その場所の市や町・村に税金を納めることになっています。ですから、一宮町に引越してきたら突然町民税を払うことになった、ということはありません。

また、税金の金額についても、1人1人の収入に合わせた形で、法律で決められていますので、一宮町の町民税が、他所に比べて高いということもありません。

そして、町民税は一宮町に引越してきた次の年から一宮町に支払う仕組みになっていますので、ご安心ください。

二つ目の質問の、あまった税金の使い道ですが、住民の皆さんから直接一宮町に納めていただいている税金は、全部合わせると1年間で約13億4千万円になります。これに対して、一宮町で1年間に必要なお金は、今年は約36億円となっています。つまり、皆さんからの税金だけでは、まったく足りません。日本国内のほとんどの市や町・村が同じように、地元で集める税金では足りずに、国から地方交付税というお金をもらって仕事をしています。

将来的に町の人口が数十万人に増え、町に入ってくる税金だけで全ての仕事が

出来るようになったら、少しは町民税を減らすこともできるかもしれませんので、皆さんと共に、安心して住みやすい、より良い一宮町を作る為に、頑張りましょう。

質問者：議席番号13 牧野議員

質問内容 ○スポーツ環境の整備について

スポーツ環境の整備について質問します。

まず一つめは、一宮小学校のグラウンドを平らに整備してほしいということです。今のグラウンドは、ボコボコで走りずらく転びやすいです。行間休みや昼休みに石につまずいたりして、転んでいる子がいます。サッカー部の練習のときも何回も転んでいる子がいるそうです。雨の日には、小さな水溜りがたくさんでき、それが大きな水溜りになってしまいます。

それに、風が強い日は砂が飛んで、目に入ります。

グラウンドを整備してもらえたら体育の授業やサッカー部、陸上部の練習をやりやすくなるし、砂が目に入ることや、雨のあとの水溜りにも困らなくなると思います。

小学校には保育園から上がったばかりの一年生や二年生もいるので転んだりすることが、少なくなったらいいと思います。

二つ目は体育館の中に鉄棒の設置をしてもらえるでしょうか。

体操部で他の小学校に合同練習に行ったら多くの学校には体育館の中に鉄棒があったので、なぜ一宮小学校にはないのだろうと思いました。

体操部はできたばかりですが、大会の種目は、床、跳び箱、鉄棒の3種目で、鉄棒は重要な種目の一つです。

今までの練習はグラウンドにある低い鉄棒の下の地面を先生が掘って高さを調節して使っていました。雨が降れば穴に水がたまり、そのたびに水を外に出さないと鉄棒が使えないので、限られた日しか練習ができません。

それでも大会ではよい成績を出すことができました。

体操部だけでなく、雨の日の体育の授業や休み時間にも体育館に鉄棒があったらみんなで使うことができていると思います。

グラウンドの整備と体育館の鉄棒の設置をしていただけますか。

答弁者：教育課長

スポーツ環境の整備についてであります。まず最初に、昨年11月9日、陸沢総合運動公園で郡市小学校体操大会が開催されました。郡市31校中19校が参加し、一宮小学校は男子団体1位、女子団体5位、総合2位と大変素晴らしい成績を収めました。(誠におめでとうございます。)

ご質問のグラウンド環境ですが、皆さんが安心して運動や遊びができるよう整備しておくことは、大変重要と考えております。

牧野議員の質問されている水のたまる場所については、砂を入れ整地してまいります。砂が飛ばないようにするためには、散水栓を活用して、先生と協力しながら水撒きをお願いします。尚、奉仕作業の際には保護者の皆様や先生方が、校庭の草刈りや整地作業を実施しております。皆さんも一緒にグラウンド環境が良くなるように協力をお願いいたします。

次に鉄棒についてですが、校庭の鉄棒については昨年12月、体操大会で使

われる高さに直しましたので、安心して練習に励んでください。
体育館の中の鉄棒の設置ですが、現在の体育館に鉄棒の設置ができるかどうか調べて、学校と相談しながら対応していきたいと考えております。

質問者：議席番号14 野方議員

質問内容 ○高齢者福祉について

高齢者福祉について質問します。

高齢者が安心して老後を送れるようにして下さい。

一宮町はもうすでに65歳以上の方が占める割合が25%を超えています。

高齢者が多いということは、介護が必要な方も多くなる可能性が高くなります。

私の家では83歳の祖父と77歳の祖母と一緒にすんでいます。近所にはお年寄り二人きりで住んでいたりと、一人で住んでいる方もたくさんいます。

家族と一緒に住んでいれば、急に具合が悪くなっても、対応することができますが、一人暮らしやお年寄り二人きりの方たちはそういう時どうしたらいいのでしょうか、とても不安だと思います。

調べてみたところ一宮町にある介護関係の施設はグループホームやデイサービスは複数ありますが、特別養護老人ホームは一つしかなく、リハビリを中心に行う通所リハビリはありません。

現在は茂原市や他の市町村の施設に通ったり入所している方も多いのではないのでしょうか。

一宮町で生まれ住んでいる人たちは、きっと年をとっても介護が必要となっても、この一宮町で生活していきたいと考えるでしょう。

そのために必要とされる施設が一宮町には少ないと思いますが、これから地域に密着した施設をつくっていく予定はありますか。

答弁者：福祉健康課長

一宮町では、お年寄りだけの世帯の皆さんのために、町が行っている政策は、民生委員の皆さんに見回りをお願いしたり、社会福祉協議会をお願いしまして65歳以上の世帯のお宅を定期的に訪問して、様子を伺う事業を行っています。そして、訪問した結果、たとえば、「認知症が進んでいるようだ」とか、「一人で家事をするのが辛そうだ」などの状況を、町の福祉健康課内にあります地域包括支援センターに報告していただいています。地域包括支援センターでは、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支援していますので、報告の内容により、介護認定が必要な状態か判断して、必要であれば介護認定の手続きをしまして、デイサービスやヘルパー派遣など、状況に応じて支援をしています。その他、高齢者世帯や独居世帯などに緊急連絡用の電話を設置する事業もあります。この電話を設置しますと定期的に電話をかけて健康状態や生活の様子を聞いたり、病気やケガなどの緊急の連絡があった場合は、消防署などの関係機関に緊急通報が行われるシステムとなっています。利用者からは大変好評をいただいています。

次に、「町に地域に密着した施設をつくる予定」についての質問ですが、特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービス、ショートステイ及び通所リハビリなどを指しているものと思います。現在、全国的に不足しているのが特別養護老人ホームです。この施設を建設するためには、町の介護保険事業計画

に載っていないとできません。また、どの施設も町が直接建設するのではなく、社会福祉法人などが、経営が成り立つと判断されたときに計画し建設されるものです。特に特別養護老人ホームは、町内だけではなく長生郡内はじめ広域的な需要を判断して建設されます。現在の町の事業計画にはありませんが、すでに、郡内町村に建設を計画している事業所があると聞いています。23年度に24年度から26年度の3カ年の介護保険事業計画をつくりますので、施設の計画があった場合、必要に応じて事業計画に予定したいと思います。

また、町内にデイサービスは4事業所、ショートステイは1事業所ありますが、通所リハビリの施設はございません。このような施設は、需要と供給の関係から、経営が成り立つと判断した事業所が計画し建設します。今のところ、このような施設が不足しているという声や事業所が進出してくるような情報もありませんが、今後需要が見込めれば事業所が進出してくるものと思います。

尚、現実的なことを申し上げますと、もし特別養護老人ホームが設置され、町内の方々が大勢入所された場合、介護保険で使う費用が多くなります。そこで国ではこれからの介護保険事業は、「介護を必要とする状態にならない」あるいは、「今は介護が必要でもできるだけ機能を改善すること」など、介護予防に重点を置いた考えを持っています。

野方議員は、おじいさんとおばあさんと一緒にくらしているそうですが、これからもお年寄りの面倒をよく見てください。また、介護保険事業の将来を背負っていく方ですので介護保険事業がよい方向に進むようこれからも見守っていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

質問者：議席番号15 水谷議員

質問内容 ○歩道の整備について

歩道の整備について質問します。

商店街の歩道の幅が狭いのもっと広くしていただけないでしょうか。

一宮町は駐車場が少ないので、歩道側に寄せて止める車がたくさんあります。車のバンパーやサイドミラーが歩道にはみだして、歩いていてぶつかりそうになったこともあります。前から来た人とすれ違うときも狭くて、うまく歩けないことがあります。道路と歩道の段差があるので、車を踏み外して歩道に出してしまい車とぶつかったら危険です。

また、小学生が自転車に乗って歩道を走っているときに、歩行者や他の自転車にぶつかる可能性もあります。

私は一度、自転車同士でぶつかったことがあります。自転車に乗った高校生くらいの人が前から走ってきたとき、「あぶない！」と思いました。よけようと思っているうちに、前のかごとかがぶつかって、うまくハンドルがきれなくなり、たおれそうになってひやっとしました。

歩行者も自転車も安全に通れる広さの歩道にしてください。事故が起こってからでは遅いので、ぜひお願いします。

答弁者：都市環境課長

商店街の歩道が狭いので、歩行者も自転車も通れる広い歩道にしてくださいとのことですが、この道路は、国道で茂原市にある千葉県長生地域整備センターで道路整備や維持管理をしています。まず、歩道の幅を広げるには、今のお

店の入り口や家の玄関になっている部分を壊して歩道に変えなくてはなりません。それにはその家の持ち主から歩道になる部分の土地を譲ってもらわなくてはなりません。水谷議員もご存知だと思いますが、市街地は家と家が密集していて一軒一軒の土地が狭いために、家を後ろにさげたり、移動させたりすることも必要になりますので、歩道を広げるということは非常に時間のかかることになります。現在、千葉県と町と一宮町バリアフリー協議会という団体が連携して、歩道の段差解消や上総一ノ宮駅南側の神門踏切の改善などに取り組んでいるところです。

今のところ、車も歩行者も、現在の車道、歩道を有効に使うために、一人一人がルールを守り譲り合いの精神を持って行動していただくことが大切であると思います。